

## 第2期大田原市未来創造戦略の令和3年度事業の進捗状況及び令和3年度企業版ふるさと納税の実績について

### 1 第2期大田原市未来創造戦略の令和3年度事業の進捗状況について

第2期大田原市未来創造戦略は令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5か年計画となっており、地方創生の実現に向けて4つの基本目標を定め、重要業績評価指標(KPI)を設定しています。この4つの基本目標を達成するため、合計61事業(重複を除く。)を具体的な事業として設定しております。

計画期間の2年目に当たる令和3年度が終了したことから、これら基本目標の進捗状況等について、大田原市未来創造戦略推進本部会議(令和4年8月1日開催)において報告及び検証を行いました。

令和3年度は、4つの基本目標のうち、調査中や調査未実施となっている項目がありますが、基本目標2においては、令和2年度に続き転出超過が改善されました。しかし、この結果は、短期的な状況である可能性が高く、地方創生事業の結果、長期的な傾向として改善したとは言い難いことから、次年度以降の状況を注視する必要があります。

また、具体的な事業においては、新型コロナウイルスの感染拡大により主に人の移動を要する事業や人を集める事業において影響を受けたものが多数ありましたが、昨年度を上回る実績となっている事業もありました。

#### ○今後の対応

各事業において、新型コロナウイルスの影響による進捗の悪化が懸念される中、今後の社会状況等を踏まえながら、地方創生の取組や第2期大田原市未来創造戦略に関する事業内容の見直し等を行うとともに、引き続きKPI項目の達成、地方創生の実現に向けた取組を進めて参ります。

### 2 令和3年度企業版ふるさと納税の実績について

「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関する寄附を行った法人に対する特例」いわゆる「企業版ふるさと納税」の令和3年度実績(2件)について報告いたしました。

詳細については、市ホームページをご確認ください。

【企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)】

<https://www.city.ohawara.tochigi.jp/docs/2020120300031/>

## 第2期大田原市未来創造戦略基本目標の達成状況

### 基本目標1 「活力ある豊かな大田原市をつくとともに、安心して働けるようにする」

【数値目標】 2024年度までの5年間の累計で300人の安定した雇用を創出する。

【成果指標】 4人以上の事業所の従業者数

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
11,200人 (307)	11,454人 (254)	11,888人 (434)	12,432人 (544)	12,625人 (193)	(調査中)

※ ( ) 内は前年比増減人数

(出典：栃木県工業統計調査)

※栃木県工業統計調査は2020年工業統計調査結果報告書を以って廃止となり、「経済構造実態調査」に包摂されています。なお、「経済構造実態調査」は、経済センサス活動調査の実施年を除くこととされているため、現段階においては調査中となりますが、栃木県における独自調査により2022年10月に公表予定となっております。

### 基本目標2 「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」

【数値目標】 2024年度までに転出超過数を50%減少させる。

【成果指標】 転入・転出者の状況（社会増減：転入者-転出者）

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
▲113人 (▲165人)	▲48人 (▲65人)	▲195人 (147人)	▲151人 (▲44人)	28人 (179人)	159人 (131人)

※ ( ) 内は前年度比増減数

(出典：統計係毎月人口調査による集計)

- ・ 社会動態については、転入者2,464人、転出者2,305人となり159人の転入超過となりました。
- ・ 新型コロナウイルスの影響による地方移住が取りざたされている昨今の影響を受けてか、県外からの転入者が多く、北那須3地域についても同様の状況となっておりますが、短期的な状況である可能性が高く、長期的な傾向として改善したとは言い難いことから、社会の状況の変化を踏まえ、次年度以降の状況を注視する必要があると思われれます。

### 基本目標3 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

【数値目標】 2024年度までに合計特殊出生率を1.5に回復させる。

【成果指標】 大田原市の合計特殊出生率

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1.28 (1.46)	1.41 (1.45)	1.26 (1.44)	1.23 (1.34)	(調査中)	(調査中)

※ ( ) 内は栃木県の合計特殊出生率 (出典：栃木県保健統計年報)

- 新型コロナウイルスの影響により令和2(2020)年については引き続き調査中のため実績値は記載しておりませんが、2021年の出生数(413人)は前年(420人)から減少しており、合計特殊出生率は回復傾向ではないと考えられます。

### 基本目標4 「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な大田原市をつくる」

【数値目標】 「大田原市の住み心地に満足している人(住みやすい、どちらかといえば住みやすいとの回答)の割合」及び「大田原市に愛着を持っている人(強く持っている、ある程度持っているとの回答)の割合」を向上させる。

【成果指標】 市民意識調査における回答率

2015年	2016年~2018年	2019年	2020年	2021年
「住み心地に満足」 ..72.6% 「愛着を持っている」 ..67.9%	(調査未実施)	「住み心地に満足」 ..71.3% 「愛着を持っている」 ..69.1%	「住み心地に満足」 ..68.6% 「愛着を持っている」 ..68.4%	(調査未実施)

(出典：大田原市市民意識調査)

- 市民意識調査については、昨年度未実施のため割合について記載されておりませんが、新たな策定等のタイミングで実施できるよう検討いたしております。